

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。

ごあいさつ

津山市民の皆様、いつもお世話になっております。「政岡あきひろの議会報告第三十二号」が出来上がりました。今回も、是非ご覧いただきたいと思っております。

この議会報告は、一年に四回開かれる津山市議会の本会議の度に作成しています。したがって、一回の任期で十六号までを発行することになります。現在、私は二期目の任期を終えようとしていますので、この第三十二号



が任期中での最終号となります。

ここまですを振り返る時、皆様方から頂いたご指導ご鞭撻への感謝の気持ちが溢れてきます。改めて、心よりお礼を申し上げます。また、次期に向けて一層の研鑽と精進を重ねていく覚悟も固めているところでです。

そのうえで、これまでこの議会報告を綴ってきた私の思いを、汲み取りながらお読みいただければ、幸せなことだと考えています。

質問の項目

この三月議会では、まず市長の市政方針に関して、ICT(情報通信技術)を活用した津山独自の施策実施の必要性について言及し、メタバースなど先駆的な取り組みを積極的に推進していくことを促しました。

一方、津山市民の安心と安全を確保するという視点から、昨年三月に院庄地区で発生したエ

コ商事の火災に関連するその後の状況や、本市としての危機管理体制のあり方などについて質問しました。尚、この質問に関しては、このような事例を再発させないためにも、継続して執行部を質していくことが必要であると考えています。

具体的な内容

市長の市政方針に関する事項

今日、ICTに関する技術革新は目覚ましいものがあります。とりわけ、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)等の技術を基に、仮想空間の中で様々なコミュニケーション活動などを可能にする、メタバースに関する技術は日進月歩といった感じですが。

私は、このメタバース空間を活用して、多様な人々が情報交換やコミュニケーション活動を行うことにより、本市の活性化に資する事業実施ができるのではないかとという提案をしました。続いて、議場におけるデジタル端末の整備状況の遅れを指摘し、本市が掲げているDXの推進による行財政改革の促進に関して、執行部を質していきました。

市民の生活と安全を守る施策実施

私は、行政における第一の使命は、住民の生命と財産を守ることだと考えています。このこ

とを念頭に、昨年三月に院庄地区で発生したエコ商事による火災事例から浮き上がる様々な問題について、執行部を質し続けています。

実際、発生から十八時間も燃え続けるという火災を発生させた当該事業所における物品の管理状況は、その後も全く改善されなかった様子があります。多くの鋼材や廃材とみられるようなものが、地面の上に野ざらし状態で放置されている状況です。

先ほど、私が「執行部を質し続けています」と述べたのは、昨年の六月議会から継続して様々な問題点を指摘し、改善を求め続けているからです。

それほど、本事業には今回の火災が発生するまでの過程にける、様々な問題が潜んでいます。しかも、それらの多くは、先ほど



▲裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

述べた行政の第一の使命である「住民の生命と財産を守る」姿勢を持ち、当該事業所の許認可申請などの業務にあたっていければ、防げたと考えられるのです。

今回は、まず事件発生から今までの行政の対応状況について、時系列に説明することを求めました。さらに、開発申請の許認可権者である岡山市や、警察との連携状況についても執行部を質しました。

一方、今回のエコ商事のような事例は、全国いたるところで見られます。今後、本市の別の場所において、同様の案件が起らないようにするためにも、再生資源物等の保管のあり方に関する、法整備が必要であることも強く指摘しました。

執行部の答弁と今後の対応

まず、情報通信技術を活用したDXの強力な推進については、令和三年三月に策定された「津山市デジタル社会の推進に向けた取り組み方針」に基づき、取り組みことが示され、地域課題の解決などに、積極的に取り組んでいく主旨の答弁がありました。

一方で、議場へのデジタル端末の導入に関しては、消極的な答弁に終始したので、最後に市長に積極的な取り組みを求めました。これに関しては、市長の市政方針においても「デジタル



実装を強力に進める」ことが明記されていますので、そのような自治体に相応しい取り組みを求めたものです。

それから、エコ商事に関する質問では、ここまでの経緯と対応についての説明がありました。一方で、このようなクライシスに対応する部署は総務部危機管理室であることが再確認され、統括した責任者が総務部参与であることも確認しました。

そのうえで、現状における問題提起と対応状況について、一問一答形式で議論を深めていきました。答弁内容は、十分とはいえないものもありましたが、総務部危機管理室を窓口として、統括した対応を図る姿勢は示されました。

さらに、再生資源物の保管に関する法整備に関しては、関連する同種の事業所等について保管状況を把握し、業界団体及び関係者の理解を得ながら、岡山市等と必要な協議を行いながら、

取り組みでいく旨の答弁がありました。

私は、今後においても、エコ商事に関する問題については、現地の状況を注視しながら、取り組みでいきたいと考えています。また、必要と考えられる法整備についても、引き続き取り組んでいく所存です。

最後に市長から、住民の日々の生活が平穏におくれるように、国・県等の関係機関に対して必要な働きかけを行い、職員の危機管理意識の向上を図り、迅速な対応をしていきたいという答弁をいただきました。

終わりに

私は、以前から津山の豊かな自然環境に育まれた、歴史と文化に根差したまちづくりを基本理念として、政治活動を続けてまいりました。そのことは、これからも貫いて行きたいと考えています。

そのために、倫理観と郷土愛に裏付けられた質の高い住民意識の醸成が不可欠です。そこで、学力の向上とそのための子育て支援に取り組みます。そして、その母体となる地域社会における、地域で見守り合える住民福祉施策の推進を図りたいと考えています。

一方で、定数削減をはじめとする議会改革、DXの促進に基づく行財政改革は喫緊の課題です。また、そのような取り組みの工

ンジンとなるべき産業振興については、津山の特徴を活かした観光・農林業振興策や、多様な視点から新たな産業を育成していくことも必要です。

これからも、皆様方のご意見・ご要望にしっかりと耳を傾けながら、それらの施策実施に取り組みでいきたいと考えています。何よりも「当たり前のことをちゃんとやる」筋を通す生き方を貫く所存です。また、そのような私の活動内容に関しては、この議会報告でお知らせしていきたいと考えています。

変わらぬご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

